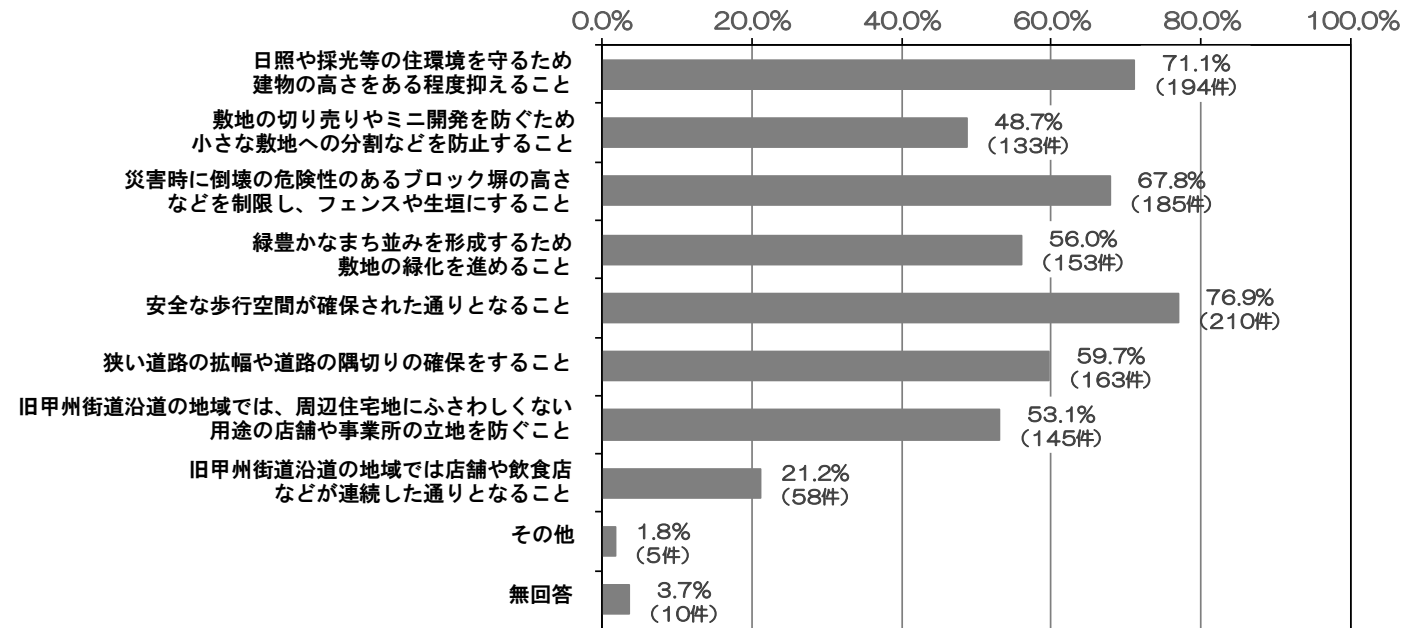


## 周辺住宅地エリアについて

問5：「周辺住宅地エリア」において「まちづくり提案書」を実現するためには、どのようなことが必要だと思われますか。（複数回答）



### 主な自由意見

- ・高齢者や車いすの方、子どもなどが安心して暮らせるまちにしたい。
- ・こ線橋の劣化が目立ち、崩れそうだと心配である。
- ・商店街通りは風俗系の建物が入らないようにしてほしい。
- ・京王線西側エリアから踏切を渡らないで、直接駅に行けるようになるとよい。
- ・京王線西側エリアと東側エリアを繋ぐ自由通路の開通を望む。
- ・京王線西側エリアの低層部を商店街、上層部を住宅とし、商店街・駅前エリアと連携し若い人も来るような商店街となってほしい。
- ・狭い道路は交通上、防災上危険であるので拡幅が必要だと思う。

## 3. その他お知らせ

### ホームページ公開のお知らせ

まちづくりニュースは、市のホームページでもご覧になることができます。  
また、ホームページだけでなく、市役所地区整備課の窓口でも配布しています。

#### <ホームページの開き方>

- 1 インターネット上で府中市のホームページを開く。  
府中市のホームページアドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>
- 2 トップページから「行政情報」の「施策・計画・審議会・協議会」の「施策・計画」を選択する。
- 3 「都市基盤分野」の「府中市まちづくり推進事業」を選択する。
- 4 「分倍河原駅周辺地区」を選択する。

発行・問合せ：府中市都市整備部地区整備課  
〒183-0056 東京都府中市寿町 1-5 府中駅北第二庁舎  
電話：042-335-4347（直通）  
Mail：saikai01@city.fuchu.tokyo.jp

## 分倍河原駅周辺地区まちづくりニュース 第9号

平成31年3月発行

### アンケート調査へのご協力 ありがとうございました

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

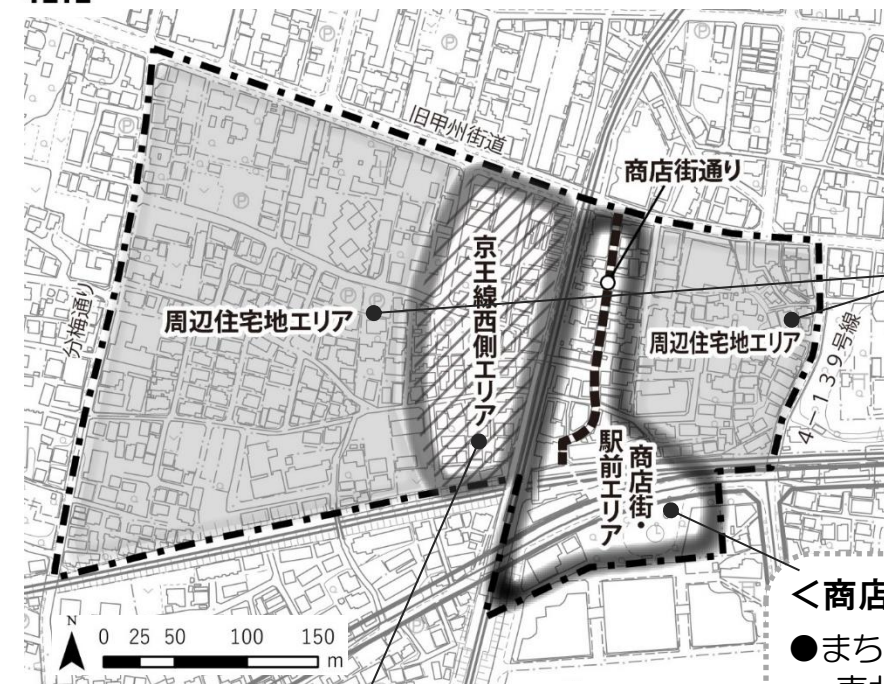
市では、分倍河原駅周辺地区において、総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るため、「府中市都市・地域交通戦略」を平成30年5月に策定しました。

また、同年11月に「まちづくり提案書」が、分倍河原駅周辺まちづくり協議会から市長に提出されました。市は、これらをもとに、駅周辺のまちづくりに段階的に取り組んでいくこととしています。

そこで、本年3月に、駅周辺のまちづくりを目的として、まちづくりルールの策定に向け具体的な検討に取り組んでいくため、分倍河原駅北口周辺地区を対象にまちづくりに関するアンケート調査を行いました。今回のまちづくりニュースでは、アンケート調査の結果をお知らせします。

## 1. アンケート調査の対象区域とエリア

：分倍河原駅北口周辺地区



アンケート調査では、左図の分倍河原駅北口周辺地区を対象とし、区域を3つのエリアに分け、それぞれの今後のまちづくりの方向性についてお伺いしました。

#### <周辺住宅地エリア>

- まちづくり提案書における主な提案
  - ・敷地の細分化を防止するなどの建替ルールづくり
  - ・生垣等による緑の創出
  - ・地区内の狭あい道路の整備の促進

#### <商店街・駅前エリア>

- まちづくり提案書における主な提案
  - ・南北の繋がりの強化
  - ・駐輪スペースの確保
  - ・商店街の土地利用
  - ・時間帯交通規制や共同荷さばき場の確保
  - ・自転車の押し歩き
- 府中市都市・地域交通戦略における主な施策
  - ・商店街における歩行者の安全性の確保
  - ・駅直近への溜まり空間の確保
  - ・南北自由通路の再整備
  - ・南北自由通路等における自転車押し歩きの促進

#### <京王線西側エリア>

- まちづくり提案書における主な提案
  - ・住宅地と調和した魅力ある駅周辺の街並み形成
  - ・駅北西地区から駅へのアクセスを改善する東西動線の整備
- 府中市都市・地域交通戦略における主な施策
  - ・駅へのアクセス道路の拡幅・整備
  - ・東西自由通路の新設

## 2. アンケート調査の結果

### アンケート調査概要

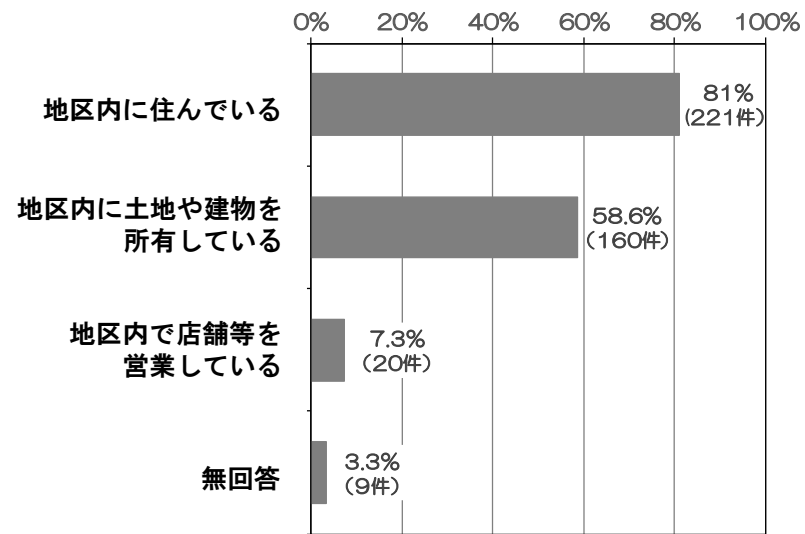
【調査区域】  
分倍河原駅北口周辺地区（1ページ参照）

【実施期間】  
平成31年3月8日（金）  
～3月22日（金）

【調査対象・方法】  
地区内にお住まいの方（営業の方を含む）  
⇒ポスト投函・郵送回答  
地区内の土地・建物の所有者  
⇒郵送配布・郵送回答

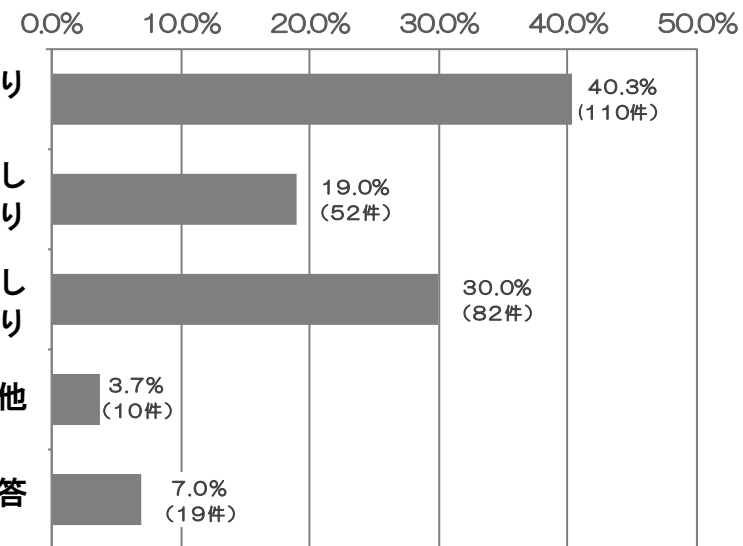
【回答率等】  
配布数：1,435部  
回答数：273部  
回答率：19.0%

### 回答者について



### 商店街・駅前エリアについて

問1：「商店街・駅前エリア」において「まちづくり提案書」を実現するためには、商店街通りはどのようなイメージが望ましいと思われますか。



小規模な店舗や飲食店が連続した通りのイメージ



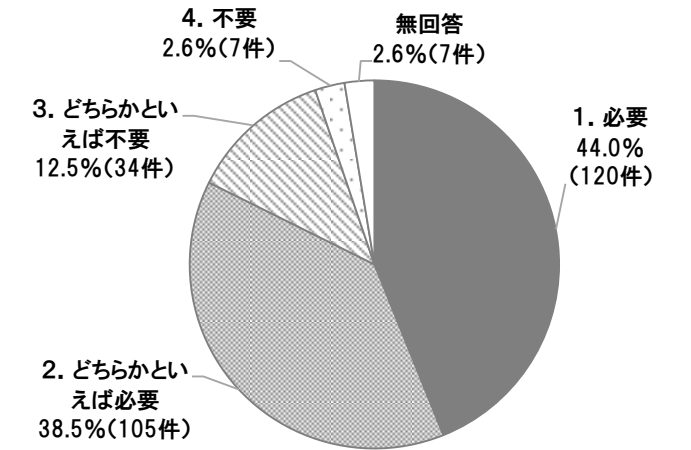
低層部は店舗や飲食店が連続し上部は賃貸アパートなどに活用された通りのイメージ



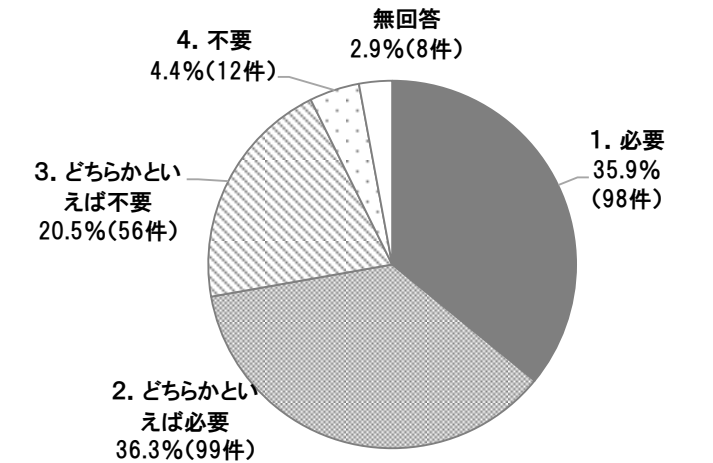
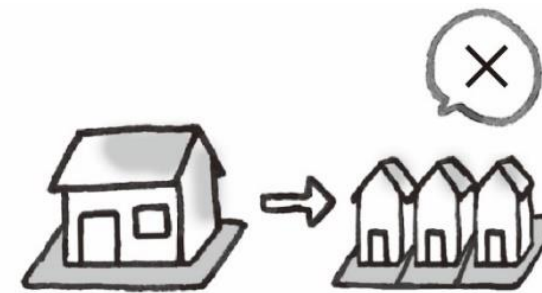
隣接する複数の敷地を一体的に利用し建替えた大規模な店舗もある通りのイメージ



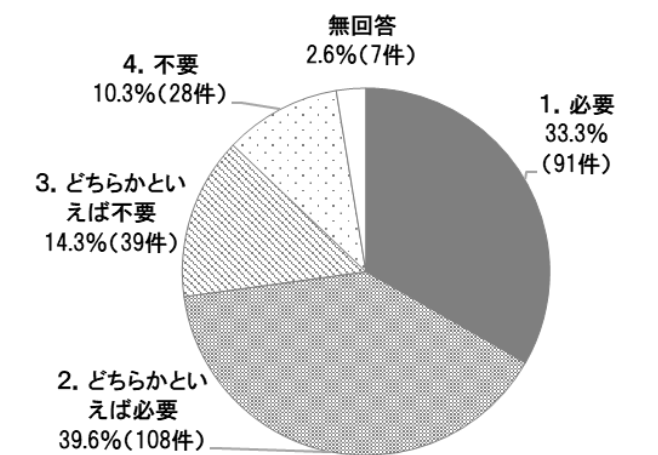
②敷地ぎりぎりに建物が建たないように、隣地との敷地境界から距離を取って建物を建てるようにするルール



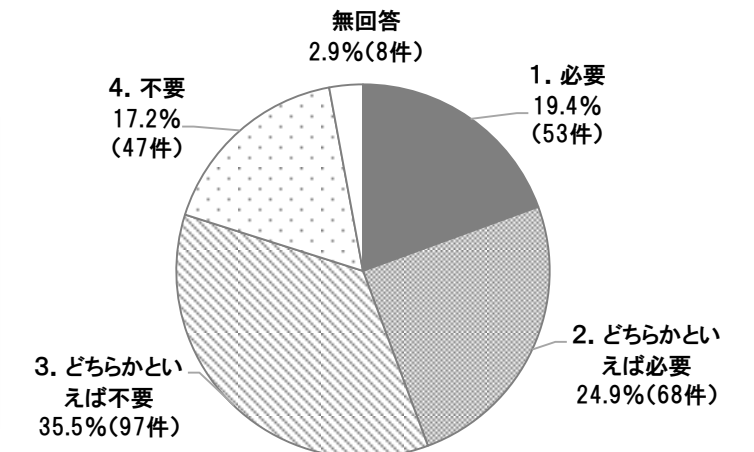
③敷地の切り売りやミニ開発を防ぐため、小さな敷地への分割などを防止するルール



④店舗などが立地しやすくなるルール

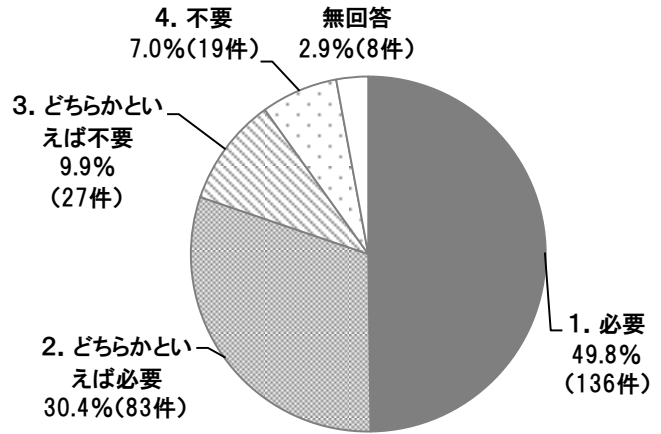
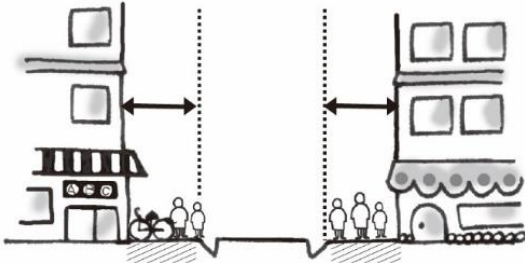


⑤より大きな建物が建てられるように、床面積を増やすことができるルール

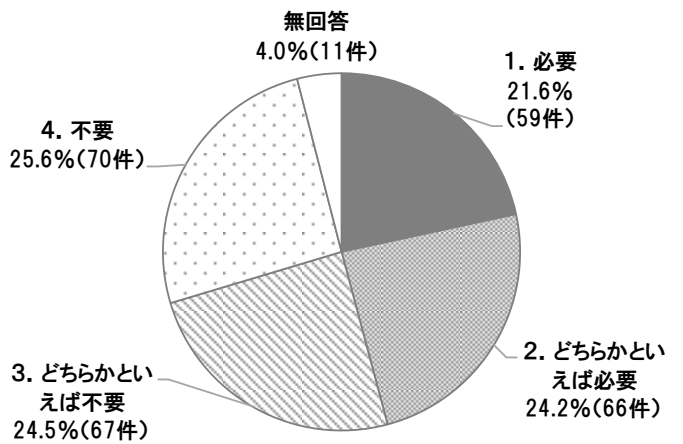
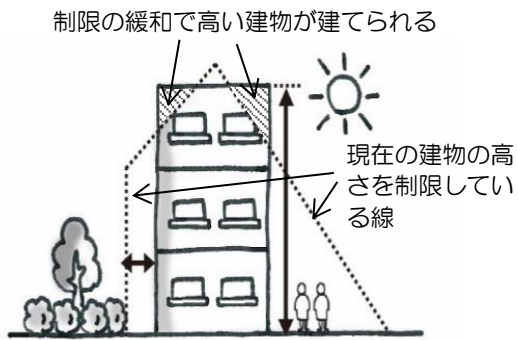


問2：問1で選んだ商店街通りのイメージを実現するためには、そのようなことが重要だと思いますか。

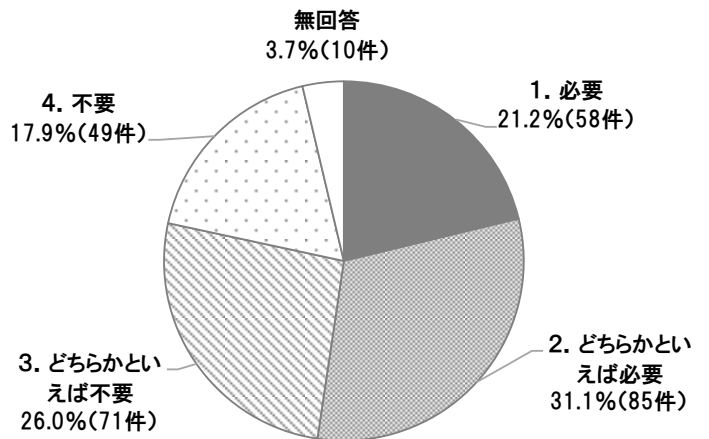
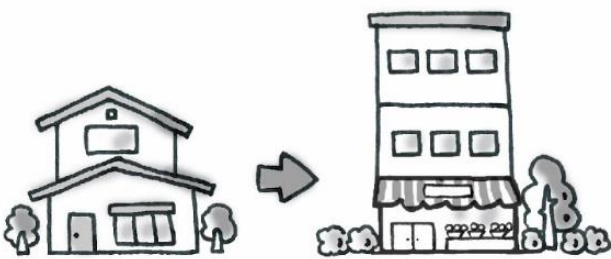
①歩行空間等のため、建替え時に商店街通りの建物の壁面を後退するルール



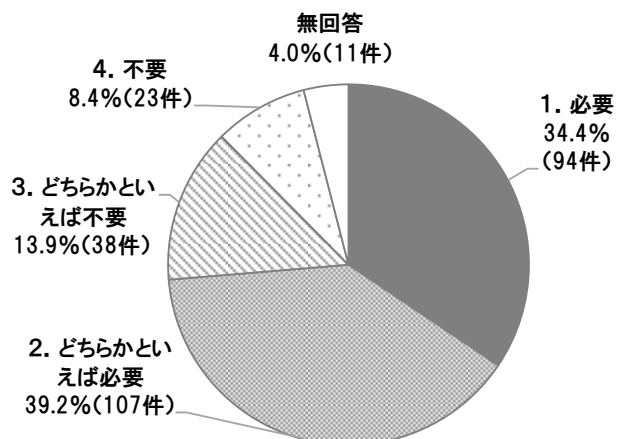
②高い建物が建てられるように、高さ制限を緩和するルール



③より大きな建物が建てられるように、床面積を増やすことができるルール



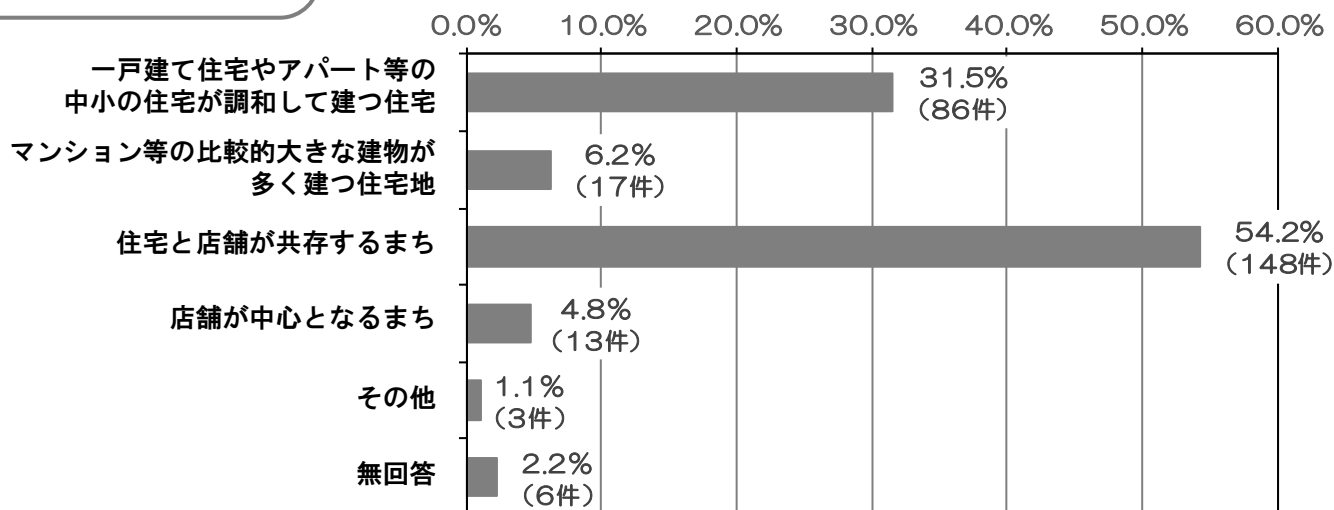
④商店街のにぎわいを感じられるように、建物の低層部の主な用途を店舗や飲食店などにするなど、建物の用途に関するルール



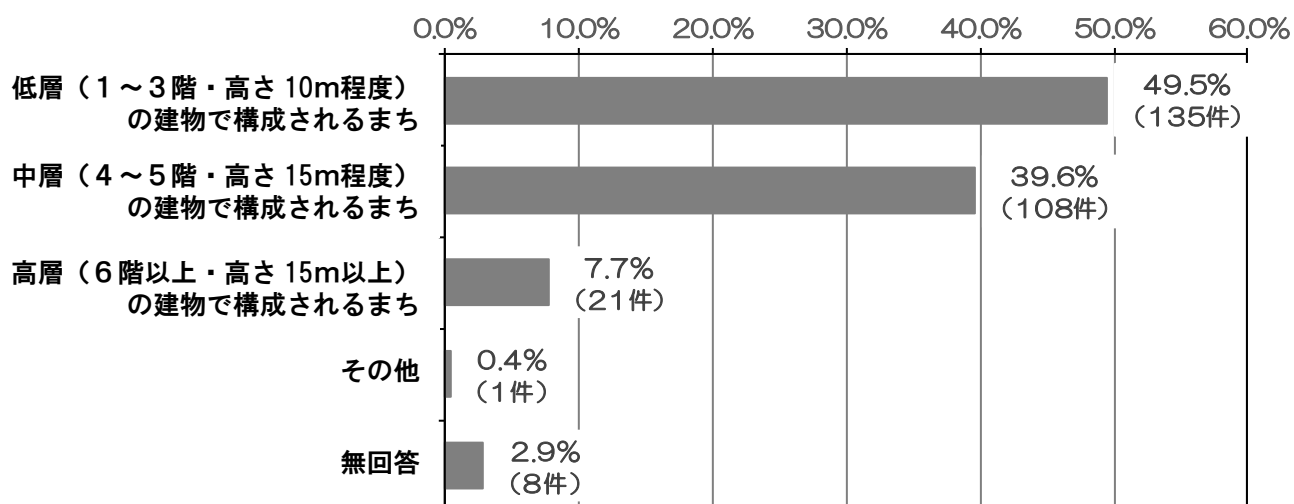
## 京王線西側エリアについて

問3：「京王線西側エリア」において「まちづくり提案書」を実現するためには、どのようなまちのイメージが望ましいと思われますか。

### ①将来のまちのイメージ



### ②将来のまちにおける建物の高さのイメージ



問4：問3で選んだ「京王線西側エリア」におけるまちのイメージを実現するためには、どのようなことが重要だと思われますか。

### ①隣の敷地に日照や採光等の住環境を守るため、建物の高さに関するルール

